Vol. 1 December 13, 1929 No. 9

ENTOMOLOGICAL LABORATORY
MAR 3
TAIHOKU IMPERIAL UNIVERSITY

LANSANIA
Journal of Arachnology and Zoology

蘭山會機關雜誌
第1卷 第9號
昭和四年十二月十三日

東京市神田區淡路町一丁目一番地
綜合科學出版協會發行

目　　次

坂口總一郎　沖繩縣產カメ類に就て……………………P. 129

山形　賴治　鹿兒島縣下のオホカウモリ　……………P. 130

岸田　久吉　神邊利重氏所藏朝鮮產セミ類目錄 ……P. 132

同　　　　　所謂ヤクカウモリの本體に就て ………P. 135

中村　倭　モンキアゲハ筑波山に產す ……………P. 142

鹿野　忠雄　琉球群島の甲蟲　第一報…………………P. 143

Contents

KANO, T.—A contribution to the coleopteran Fauna of Loo-choo Islands, with description of new species…………P. 143

KISHIDA, K.—A list of corean cicadas in the collection of Mr. T. KAMBE, with notes on a new species ………P. 132

KISHIDA, K.—On a fruit bat called "Yaku Komori"…P. 135

NAKAMURA, K.—On the north eastern limit of distribution of a butterfly *Papilio helenus niconicollens*……………P. 142

SAKAGUCHI, S.—On the turtles of the prefecture of Okinawa ……………………………………………………P. 129

YAMAGATA. R.—On the occurrence of pteropines in the prefecture of Kagoshima, Kiushiu ………………………P. 130

BB 額前板は2對……タイマイ屬 *Eretmocheleys*

第四種 タイマイ *E. squamosa* (GIRARD, 1858)

琉球に於ては重要水產物なり. 臺灣. 小笠原は產地として著聞す. 分布はひろき方なるが如し.

YAMAGATA, R. On the occurrence of pteropines in the prefecture of Kagoshima, Kiushiu.

鹿兒島縣下のオホカウモリ

山 形 賴 治

鹿 兒 島 縣 警 察 部 保 安 課

"所謂ヤクカウモリの僉議上必要"の由にて農林省鳥獸調査室の岸田久吉氏より, 鹿兒島縣下のオホカウモリの取調を依賴せられし縣警察部の命令にもとづき, 予は縣內各所に照會し, 又は自ら出張して實地に調査したるを以て 今日までに得し結果を摘記し, 學界篤志の士に報ずべし.

1)屋久島 古き外國の學者は屋久島よりのオホカウモリを記錄せる由なるも, 現在は全く其の棲息を認めず. 又土地の者もオホカウモリは此地に棲息せずと答ふ.

2)種子島 全くオホカウモリを產せず.

3)口之永良部島 屋久島の西北に在る島なるが, 此島にはオホカウモリを產す. 多く棲息せるは向江濱・本村・新村附近にして, 外に岩屋泊にも居る. 月夜にはモカセの實を食はんがために人家近く來る. 其の他 ガチマルの實・バショウの實・サクラの實にも來たることあり. 予は昭和四年十一月五日此島に

着し棲息をたしかめ得たるも，採集は存外困難にて　十一日午後九時に始めて向江濱にて捕獲することを得たり．此ものはバショウにつき居りて飛び立つところを捕へしなり．尋で同夜十時頃より翌日の午前一時頃までかかり　本村にてモカセに來れるものの中より牡2頭牝1頭を得たり．十二日の夜も本村にて採集に從事せしが，漸く牡2頭牝2頭を捕獲せしのみ．され共船便の都合もあり此にて採集を打切り，十三日には歸途に就けり．此島の材料は全部岸田氏に送付し共の研究に委ねたるが、新名稱を要する趣にて，同氏が和名エラブオホカウモリ　學名 *Pteropus yamagatai* KISHIDA，1929 を發表せられしこと，誌友諸氏の知らるる通りなり．尚ほ詳細は既に提出し置ける拙文が農林省鳥獸調査室の報告集に掲げらるべしと信ずるを以て玆には略記にとどむ．

4)惡石島　此島には昔より多數のオホカウモリ棲息し居ること確實の様なり．”此島にて捕獲したるものを口永良部島に持參せることあり，又旅行者にして此島にてオホカウモリを見しもの多數なり”と云ふ．されど予は未だ實地に踏査せさるを以て書類上の調査を記すにとどまる．第一鹿兒島中學校教授永井龜彥氏も　此島のオホカウモリを持歸りて共の標品を保存せらるるやに傳聞す．

5)寶島　惡石島よりも更に南方に在りて，奄美大島に近きこと一層なり．大島名瀨港在住の者にて以前　寶島より捕へ來りしオホカウモリを飼養せしことある者ありと云ふ（大島警察署巡査部長談）．此人は共のオホカウモリの斃れし後は口之永良部島產のオホカウモリを飼養し居る由なり．

6)喜界島　オホカウモリを產せず．

7)大島　他島產を飼養せる者あれとも，本島にはオホカウモリを天產せず．

8)德之島　オホカウモリ棲息せず．

9)沖之永良部島　岸田氏より聞く所に依れば　上野博物館には本島產と記せし標品ありし由なれ共オホカウモリの棲息を認めず．

前記の通りにて目下　縣內のオホカウモリ產地は口之永良部島・惡石島・寶島の3島だけに限らる．第一は確實なるも，第二・第三は實地踏査に依つて實物を得らるるまでは十分たしかなりと云ひがたし．〔昭和四年十二月七日認む〕